

第1章 情報教育及び情報活用能力の育成に関する基本的な考え方

教育の情報化，情報教育及びICT活用など，「情報」に関する様々な用語が学校教育において使われている。そこで，本章では，本研究紀要を発刊する機会に，情報教育及び情報活用能力の育成に関する基本的な考え方などについて述べる。

1 教育の情報化

教育の情報化とは

図1は，教育の情報化の概念を示したものである。

「教育の情報化」とは，「情報教育」，「ICT活用」，「校務の情報化」の三つの要素を含めたものである。

教育の情報化の目的は，児童生徒の情報活用能力の育成，すなわち，体系的な情報教育の推進に加え，各教科等の目標を達成する際に効果的に「ICT」を活用することを含むものである。

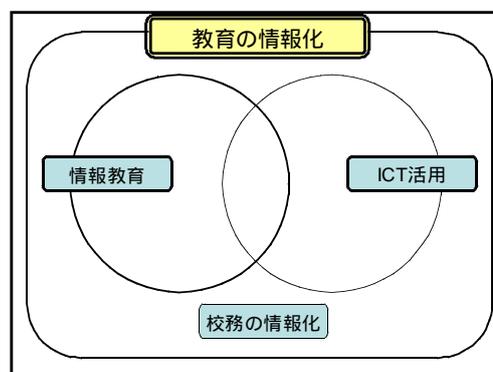


図1 「教育の情報化」概念図

情報教育とは

「情報教育」とは，各教科や総合的な学習の時間などにおいてコンピュータやインターネットなどを積極的に活用し，児童生徒の情報活用能力の育成を図ることを目標とした教育のことである。

ICT活用とは

「ICT活用」とは，学習指導要領に示されている教科や科目等の目標を達成するために授業の中でICT機器を活用することである。

ICT機器には，コンピュータやプロジェクタ及びデジタルカメラや教材提示装置などの機器があり，分かる授業を実現するには，授業の中で教育用のデジタルコンテンツを提示したり，インターネットを利用した学習活動を行ったりすることが大切となる。

校務の情報化とは

「校務の情報化」とは，校務においてコンピュータなどのICT機器を活用し，効率的に処理を行うことである。

2 情報活用能力の三つの観点

図2は，情報活用能力の三つの観点をまとめたものである。

「情報活用能力」とは，「情報及び情報手段を主体的に選択し，活用していくための個人の基礎的な資質」のことである。この能力は，児童生徒の「生きる力」の重要な要素として，特定の教科だけでなく，すべての教科・科目などの学校の教育活動全体を通じて育成されるべきものである。

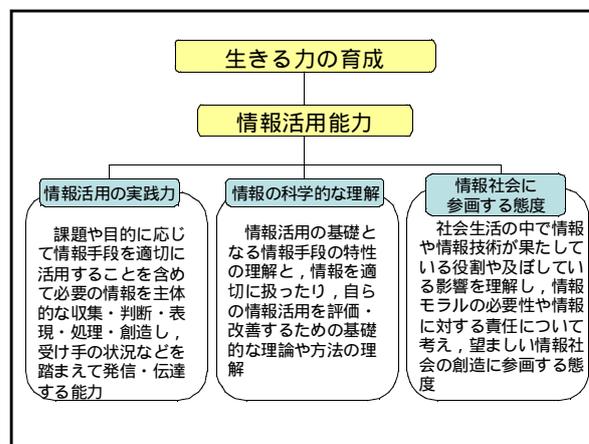


図2 情報活用能力の三つの観点

3 校種における情報教育のねらい

小学校

小学校では、情報教育に関する特定の教科は設定されていないが、「総合的な学習の時間」をはじめ、各教科等においてコンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用し、慣れ親しませることをねらいの中心にしている。小学校では低学年から高学年までの発達の段階による変容や個人差が大きいことから、その段階に応じた指導を行う必要がある。

中学校

中学校では、技術・家庭科で情報に関する基礎的な内容を指導することになっているが、この教科だけではなく、すべての教科等で積極的に情報教育に取り組むことにより、生徒の情報活用の基礎的な能力を育成していく必要がある。

高等学校

高等学校では、必修教科として、「情報A」、「情報B」、「情報C」のいずれかを選択し、情報及び情報技術を活用するための知識と技能を指導するが、中学校と同様すべての教科や科目などで積極的に情報教育に取り組むことにより、学校の教育活動全体を通して情報活用能力を向上させる必要がある。

特別支援学校

特別支援学校での特別な教育的支援を必要とする児童生徒の教育においても、その教育目標及び内容は、小・中・高等学校に準じており、それぞれの学校段階を踏まえた指導を展開する必要がある。

このことから、児童生徒の実態に応じた様々な支援機器及び情報機器の知識・技術の活用を図りながら、自らの障害に基づく困難等を改善・克服する力を育成する必要がある。

また、個々の障害の特性に応じた指導方法の工夫が必要となる。

・ 情報モラルの指導

新学習指導要領においても学校における情報モラルの指導については、更に重要視されることから、小・中・高等学校を通して発達の段階を考慮しながら、児童生徒のICTを活用する力に合わせて指導することが大切となる。

4 小・中・高等学校での学習活動と校種間の連携

小・中・高等学校での学習活動

学習のためにICTを効果的に活用することの重要性を理解させたり、情報教育が目指している情報活用能力を育成させたりするための学習活動を展開することが重要であり、その活動は、小・中・高等学校のすべての教科・科目等で行うこととしている。

学習活動を設定する際には、児童生徒の発達の段階を考慮するとともに、それぞれの校種に合わせて、情報活用能力の三つの観点をバランスよく育成できるように考慮する必要がある。

校種間の連携

小学校から中学校、中学校から高等学校への指導の接続を円滑にするためには、それぞれの校種が、他の校種での指導内容や学習活動の内容などをしっかりと把握した上で指導を行うことが大切となる。